

2013年度 経済学部ハイド賞

懸賞論文募集

経済学部では、1921年から1922年にかけて本塾で教鞭をとられたカナダ人教授 故ダンカン・クラーク・ハイド氏が、経済学部に託された遺志を記念し、1988年度より学生諸君の学問研鑽を奨励するために「経済学部ハイド賞」を設け、懸賞論文を募集しています。今年度の募集要項は以下のとおりです。ふるってご応募下さい。

記

テーマ：「労働」を考える

就職活動や職業選択の問題は労働の目的や意義について考える機会を与えてくれますが、日本の労働市場はさまざまな問題を抱えています。たとえば、雇用システムのあり方、解雇規制の緩和、雇用の非正規化が経済・社会にもたらす諸問題、賃金制度における年功主義と成果主義、労働市場の流動化や国際化への対応、男女間雇用格差の解消などの問題です。そこで、こうした労働に関わる問題について理論・実証・歴史・政策の経済学的な観点、あるいはその他の社会科学、人文科学などの観点から現状にそって自由に論じなさい。

1. 使用言語：日本語・英語のいずれか

2. 用字・字数（枚数）および提出部数

日本語の場合：ワープロでA4判用紙に横書き、10,000～16,000字 要旨(400～800字)を添付

英語の場合：ワープロでA4判用紙に横書き、3,000～5,000語 要旨(200～300語)を添付

提出部数：6部(コピー可)

なお、日本語・英語とも上記の字数・枚数に図表及び参考文献表は含まれません。

3. 応募資格：経済学部・学部学生 単独でも複数者による共同論文でも可。

4. 締め切り：2013年12月6日（金）16:45 締め切りを過ぎての提出は一切認めません。

5. 提出先：三田・日吉 学生部 経済学部係

6. 賞：特賞(賞金10万円)・優秀賞(賞金5万円)・努力賞(賞金2万円)合わせ5編程度

なお、各受賞論文については、経済学部ホームページおよび学内掲示板に、受賞者氏名ならびに論文題名を掲載します。

7. 発表：2014年1月中旬の予定

8. 過去の受賞論文の閲覧について

前年度受賞論文を、<http://www.econ.keio.ac.jp/>に掲載します(塾内LANでのみ閲覧可)。

9. その他

論文執筆にあたっては、学術論文の作法に関する書物を読むことを強く勧めます。以下の教養研究センターのサイトなどを参照して下さい。<http://lib-arts.hc.keio.ac.jp/ronbun/books.html>

応募論文はオリジナルであること、また他の懸賞論文や雑誌等に重複して応募・投稿していないものであることを条件とします。引用に当たっては出典を明記することにも留意して下さい。

応募論文は返却しません。受賞論文の著作権は経済学部に帰属します。

2013年6月21日

経済学部ハイド賞選考委員会

委員長 長堀 祐造